

第69回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第69回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	令和8年1月26日(月) 午後3時30分～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 (非公開とした 場合はその理由)	公開
傍聴者	0人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	審議案件 (1)「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)にかかるとる事業評価」について (2)「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業(幹線)にかかるとる事業評価」について 報告案件 (3)「リ・デザイン」後の影響調査及び今後の対応について(報告) (4)その他
会議内容	別紙会議内容のとおり

第69回河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	第69回河内長野市地域公共交通会議開会の案内
事務局	議題1：「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー）にかかる事業評価」について（事務局による説明）
日野副会長	<p>【質疑応答】</p> <p>事業評価の今後の対応方針としては、次の3点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公共交通ネットワーク構築を目指す ・生産性の向上する施策を検討する ・市民ニーズに対応した公共交通施策を展開する <p>市民ニーズの把握の仕方には、課題がある。</p> <p>生産性という言葉については共通理解が不足している可能性がある。</p> <p>この2点について補足説明を求めたい。</p> <p>また、市民ニーズと持続可能なネットワークは必ずしも一致するわけではないため、その乖離を防ぐ必要がある。</p>
事務局	<p>生産性の向上は補助の目標達成のためのバスの利用促進や運転手不足等の課題への対応を含めた取り組みを事業者と協力して実施する。</p> <p>市民ニーズは市民の声や、アンケートを通じて把握していきたい。</p>
日野副会長	<p>生産性向上、乗車効率が言われることがある。一便あたりの人数を増やして効率を上げるようなミスリードをしないで考えて頂きたい。一般の生産性向上はなじみがない。今のところは収支状況を改善し利用者を増やしていのを目指すのと、生産性の向上ということに対して精査しておいてもらいたい。</p> <p>あと福祉移送サービスをネットワークとして含めておいて良いか。</p>
事務局	福祉輸送は公共交通ネットワークからは外れて、福祉として対応する。
藤原委員	<p>フィーダーや幹線は運行費の補助金になっている。この補助金はこのように事業評価してもらおう。その結果を次年度、令和9年度の計画に反映させようとする形で評価してもらっている。今やっているのは協議会での自己評価、その自己評価を運輸支局に送ってもらって、近畿運輸局が評価を行っている。</p>

会長	<p>それでは、本件について、ご承認いただけますでしょうか。また、本事業評価については、この後、事務局より国へ報告をいたします。その際の細かな表現等の修正については、事務局に一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>議題2：「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業（幹線）にかかる事業評価」について（事務局による説明）</p> <p>(質問無し)</p>
会長	<p>それでは、本件について、ご承認いただけますでしょうか。また、本事業評価については、この後、事務局より国へ報告をいたします。その際の細かな表現等の修正については、事務局に一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>議題3：「リ・デザイン」後の影響調査及び今後の対応について（報告） (事務局による説明)</p>
安岡委員	<p>Web 調査で一部、今後の情報が明らかになったときに市として改善策を進めていくのか、決められているのか</p>
事務局	<p>この結果からどういった対応をするのか、3月4月の交通会議で提示させて頂きたい。</p>
田中委員	<p>通勤が出来なくなったのはまずい。通学用途もあるので確認したら。</p>
日野副会長	<p>今のデータだけでなく、2か月後、3か月後の利用者数がどう変化するのかデータがあるとわかりやすいのではないかと、南海バスさんとして開示できないのか</p>
中井委員	<p>どの路線のどの区間もあるので、利用者数を開示できるか市と協議させてもらう。</p>
日野副会長	<p>路線が変わっているので、一緒ではないが、エリア、区間。利用者数等でだ</p>

	<p>してもらえれば。</p>
中井委員	<p>路線、場所については詰めていきたい。</p>
事務局	<p>今回のバス再編は、深刻な運転士不足を背景に事業者との協議を重ねた結果、10月に実施された。バス停を1つも廃止しなかった点で、市内移動のセーフティネットとしての機能は維持できたと市は評価している。一方で、通勤が不便になったという市民の声も寄せられており、すべての要望に応えることは難しい状況にある。</p> <p>再編の影響を検証するにあたり、アンケート結果だけでは主観的な「不便さ」が強調されやすいため、客観的なデータ分析が必要とされている。利用減が便数削減によるものなのか、リ・デザインによる利用者構造の変化なのか、判断は容易ではない。</p> <p>Web アンケートでは「外出が減った」と回答した人は3.1%で、回答者は50代を中心に比較的若い層が多かった。しかし、バス利用者の多くは高齢者であり、紙調査を行えば結果が変わる可能性があるため、総合的な検証が求められる。</p> <p>今後、市としては間接的な利用促進だけでなく、市民生活を支える移動ネットワークを公金の使い方としてどう支えるかも検討していく方針である。</p>
会長	<p>市としては、これまでの減便や路線の見直しによって、市民の通勤・通学や日常生活の移動にどのような影響が出ているのかを丁寧に把握したいと考えている。移動手段がタクシーや自家用車、近隣住民の助けなどに変わっている可能性もあるが、持続可能な公共交通の確保は重要な課題である。</p> <p>特に、空き家活用による若い世代の転入促進を進めるうえで、移動手段の充実が町に住むかどうかを左右する大きな要素となるため、公共交通の維持・確保は市にとって最優先の課題と認識している。</p> <p>今後は南海バスや第一タクシーとも連携しながら、移動手段の確保策を検討していく。また、今回実施したアンケートは地域や属性ごとにクロス集計し、次回の公共交通会議で報告できるよう準備を進めている。</p>
事務局	<p>議題4：「リ・デザイン」以降の取組について（報告） （事務局による説明）</p>
会長	<p>今回のバスの再編について、南海バスさんより再編の効果や状況について、教えていただけますか。</p>

中田委員	効果としましては、収支の具体的な数値は出せていないが、路線を効率化したので、運転手の不足については緩和している。
平委員	10月18日バス無料デーに知らずに乗った。整理券は取るかどうかわからなかった、バスの中に掲示が無かった、わかりにくかった。 ICカードをかざしている人も居た。周知が不足していたのではないかと整理券は人数を把握するために取るのか
事務局	整理券は、市内路線に正しく乗っているかを証明するために取ってもらっている。
平委員	混雑していて、前から後ろからも降りていたのでその対策も。
事務局	周知します。
藤原委員	目的が市内の活性化、協力店が増えたかどうか、把握しているのでしょうか
事務局	まだやっている途中で全部が分からない。くろまろの郷では初日37人来店した。観光案内所のスタンプラリーの用紙は2000枚置いている中の半分が使われている。
田中委員	バス乗っていなくても現地に行けば特典があるのか。QRコードでバスに乗ったら特典があるのか、あれば良いなと思ったのが1点。もう1点、難しいのは分かっているが、市外路線は除外されているが、幹線は隣接市まであるので、横の自治体と何か協力して出来る方策を考えてもらえればうれしい。フィーダー、幹線の利用促進につながる。
事務局	バス無料デーの使いやすさを優先したので何も持たずに乗られることとした。高齢者の使い勝手を考えて何もしなかった。市外路線については、金剛山行きで対応に課題があることから実施していない。しかし他市とは協議を続けていかないといけないと考えている。
田中委員	市外については難しいのは分かった上での質問でしたので、検討いただければと思います。 ターゲットについては、高齢者に向けて考えられていたのか、若い方、バスに乗られていない方の利用を増やしていくための施策なのか。それでいくと

事務局	<p>若い人に向けて QR コードをつけるとヒットするのではないかと、ターゲットは明確にしておいた方が良いのではないかと。</p> <p>ターゲットは明確にして実施していきたいと思います。</p>
岩井委員	<p>今の土1、3、バス無料デーの顕著な効果にびっくり。モックルバスだけでも5倍から8倍の伸び率を示しているのは、どこから来るのかという驚きを感じている。個人的には、当初期待して無かったというか、推移としてはあんまり変わらんやろと思っていたのですが、蓋を開けてみると運賃との相関関係が如実に出ているのかなと感じがして、もし今の時点で分かる事があれば教えて頂きたい。その伸びた理由はどこら辺にあるのかな。今分かっている中でどんな年齢の方々が、どんな家族構成の方々が、どんな所にいっているのか知りたいな、結果が分かるのが随分先なので、その辺の事が今わかる事があれば教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>数値的なものではないが、私一度端から端まで乗らせてもらったが、その時結構聞いたのが探検に来たと聞いた。無料になると気になっていたバスに乗る。降りる所は人それぞれでキックスで降りられる方も居られるし、駅間の三日市町駅から河内長野駅そして千代田駅が多いかな。お試しということで夫婦であったり家族であったり、ただこれは乗ってみた感想なので、後ほど正確な結果がでると思います。</p>
岩井委員	<p>詳しくわかってくるんですかね、先程のアンケートありましたよね、ちょっとは分かるんですかね。</p>
事務局	<p>人流データによると、バス無料デー（第1・第3土曜）には70代高齢者の移動が活発化していることが分かった。今回は高齢者だけでなく家族連れの利用も期待して土曜日に設定したが、実際には無料をきっかけに高齢者の利用が多くなった印象がある。一方で、家族連れが「モックルバスに乗ること自体を目的に」往復する例も見られ、まち中の移動活性化という点では一定の効果があったと考えている。</p> <p>ただし、無料でなくなった場合に利用が維持されるかどうかは検証が必要だとしている。</p>
岩井委員	<p>アンケートの問7で聞いてはるので、アンケート調査の詳細が分かれば、この辺も出てくるかと思うので、期待してます、詳しく知りたいので。</p>

日野副会長	<p>他自治体の無料施策はイベント連動型が多く、回数券の利用率などで効果を測っている。一方、河内長野市の無料デーは規模が大きく費用もかかるため、どれだけ効果があったかを丁寧に検証する必要がある。特に南海バスのデータが含まれていない現状では議論が難しく、コミュニティバスだけでなく路線バスの増減も比較できるようデータ提供をお願いしたいと思います。</p> <p>当日に利用が大きく増えるのは「乗ってみたかった」という潜在需要が顕在化した可能性があり、無料でなければ乗らない層が一定数いることも示唆される。また、家族連れの利用には子どもがバスに親しみ、将来の利用者育成につながるという長期的な狙いも他地域では見られるが、そこまでの効果はまだ評価できていないとしている。</p> <p>歩留まり効果をどこまで評価に含めるかを検討する必要があります。また、連携先サービスの利用状況についても、これまでの「乗ってみた感想」といった主観的な声だけでは客観性に欠けるため、協力店舗から利用データを提供してもらえようをお願いしたい。例えば、くろまるさんの「100人中39人来店」のような数値データがあると分析に役立つため、今後はそのようなデータ提供をお願いしたい。</p> <p>鉄道利用者が増えているというデータの出所が分からないため、各鉄道事業者の乗降客数など、客観的な根拠を確認する必要があります。もし鉄道利用が増えているのであれば、地域全体の移動量が増加していることになり、事業の効果を総合的に評価する材料になると思うんです。将来に向けて、費用をかけても取り組む価値があると示すためにも、可能であれば次回に向けてそうしたデータを整理してほしい。また、南海バスさんにも利用者数などのデータ提供をお願いしたい。</p>
岩井委員	<p>お金が掛かるのは分かるので、ただ、この件と公共交通のあり方がどこかでつながってくると感じがする。この件は交通機関の在り方に一石を投じると思うかもしれない。ただ、ネックになるのは費用。市民感覚として、需要としてこれだけの取組は、これだけ顕著な効果を出すんだということに非常に感心しました。</p>
井本委員	<p>先程から何回も出ているのだが、バスの交通側からみると、バス無料デーをやることによって、バスに触れ合ってもらう、普段乗らない方に乗ってもらう。興味を持ってもらって小さい子が将来運転手になりたいなと思ってもらうという所になってくると思うので、その長期的な、先程データの話しもありましたけど、無料デーをやる前とやった後でバスに乗っている方、無料デーの時だけ跳ね上がったの数も大事だとおもうのですが、長期的にデータを整</p>

	<p>理してもら、無料デーをやる前よりやってから利用者が増えてます等の長期的な目で検討してもらったらありがたいのが一点。</p> <p>もう一つが、興味をもって物凄い数が乗ってもらって驚いている。せっかく興味があって乗ってもらっているのに、バスの中で今の地域交通がこんな大変なことになっている、運転手さんが不足している。あまりバスに関わっていない人にすれば知らない、知られてない情報だと思うので、その辺の発信のチャンスで、啓発の場として活用してもらえればと思います。</p>
事務局	<p>やっている間は、しっかりデータを取って検証していきたい。</p>
田中委員	<p>アンケートの問7で、バス無料デーをどこで知りましたかとの問いがあるが、この例以外で周知されたところはあるのか。</p> <p>私今日 JR とモックルバスに乗ってきたが、このポスターはみてないな。鉄道さんに協力を頼むなら鉄道さんの施設になるのか、あと小中高の学校の方に御協力頂くとか、この会議に色んな現場の方が来られているので、その方たちに協力頂くとかが良いと思いました。</p>
会長	<p>市のバス無料デーは、物価高騰対策の交付金を活用し、従来の移動支援（バス・タクシー補助）では利用者が限定されるため、市民全体が使える施策として実施した。</p> <p>市長としては、普段バスを使わない人にも一度利用してもらい、バスの便利さを実感してもらうことで、公共交通の利用促進につなげたいという狙いがあった。実施の結果、市外からの来訪者増や、これまで乗っていなかった市民の利用が確認され、バスが生活の中で役立つことを感じてもらえたと評価している。</p> <p>効果が高かったため、次年度以降の継続については、現在の予算編成や国の物価高騰対策を踏まえて検討中で、最終的には議会の判断となる。今後も今回の取り組みを検証し、公共交通の充実につなげていきたいとの考えが示されている</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかにないようでしたら、以上をもちまして、第69回河内長野市地域公共交通会議を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。今後とも、本市の公共交通の維持・充実に向け、皆様のご協力をお願い申し上げます、本日の会議を終了させていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>